

ハイブリッドソリューション®のYDC 「RFID在庫管理システム」

特徴 1

リアルタイム キャッチ

「見える化」と「スピード化」を実現

製造業は基より販売業に於いても在庫数の把握は非常に重要です。

在庫品は自社の資産ですので、在庫の数を把握する事は、いわば「自分の財布の中に幾らお金が入っているか」を把握する事に等しいとも言えます。

製造の工程や販売店の棚にどれだけの在庫が在るのかをリアルタイムで正確に把握する事は、商機を逃さないための必須条件です。

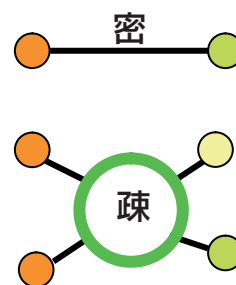


特徴 2

インタフェース ハブ

システムを超えて「繋がる」情報

在庫数をリアルタイムに管理する手段として生産管理パッケージと、RFID を利用したシステムを構築しました。その連携部分に DataSpider を使用しています。連携部分をパッケージとスクラッチシステムとの直通にするのではなく、インタフェースハブとして DataSpider が吸収する事により、RFID のみならずレガシーシステムとの結合も柔軟に行う事を可能にします。つまり、システムの拡張やリプレースが発生しても、システム間連携に大規模な見直しは不要になります。これは、恒久的な投資の抑制に繋がります。



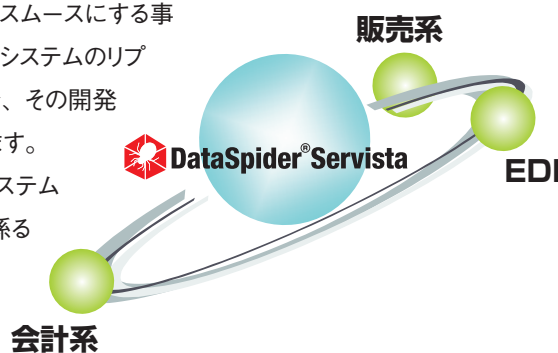
特徴 3

将来性

システムの拡張性

DataSpider を用いてシステム間連携部分をスムーズにする事により、将来的な外部システムとの連携、既存システムのリプレースに伴う連携の見直しなどが発生した場合、その開発にかかる工数、費用を削減する事が見込まれます。

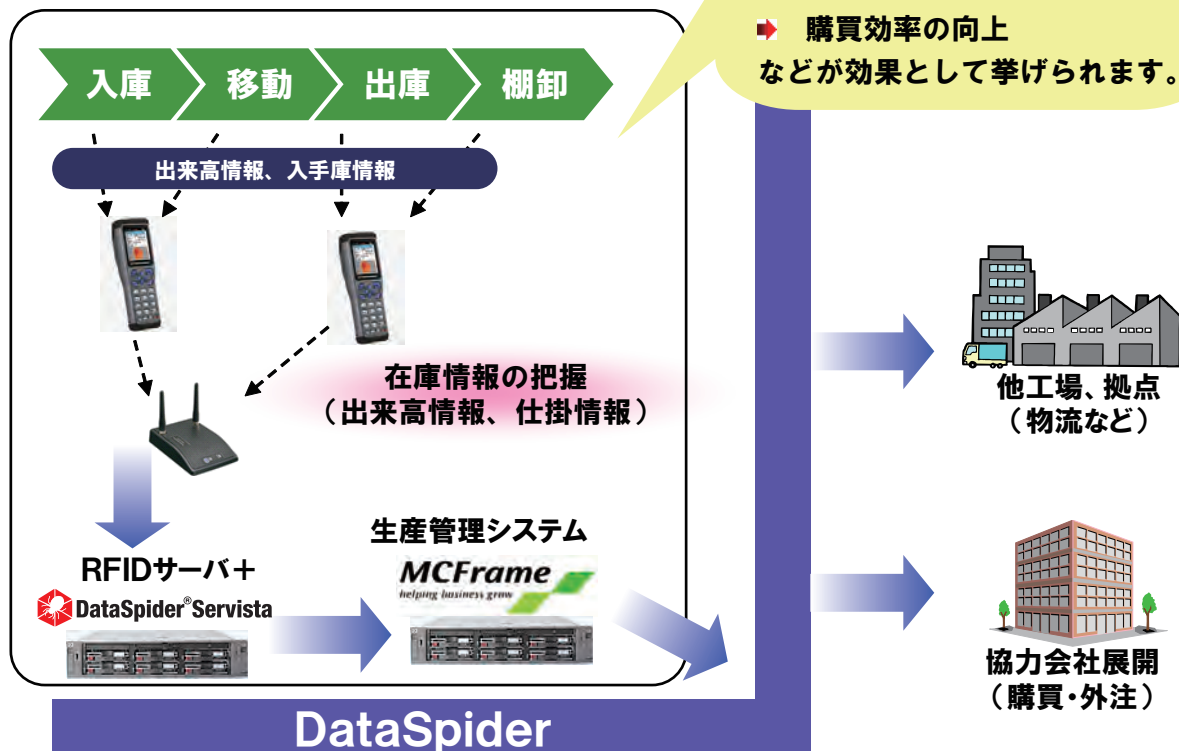
DataSpider で疎結合された連携により、システムネットワークの接続が広がり将来的にも IT に係るムダを失くすことが可能になります。



ソリューション概要

■ DataSpider+生産管理システム+RFID システム

在庫管理の単位としてパレット毎にICタグを添付し、入庫時にその製品の情報（数、ロケーション、ステータス等）をハンディターミナルでICタグに登録します。以降在庫数に関してはICタグの読書きする事で最小限の入力効率で瞬時の把握とデータ精度を向上させています。棚卸時にはその効果を最大限に発揮し、ICタグの読込のみで現場での在庫情報が即座にシステムに反映されます。



システム間連携を密に接続せず、EAIパッケージであるDataSpiderを採用し疎結合させる事で、「製造工数の低減」「連携部分の簡便化」そして何よりも多くのアダプタを備えることにより、将来的なシステム拡張に関しても、大きな投資対効果を産む事が期待できます。上記の事例ユーザー様においても、データ収集範囲を自社内に留まらず、外注先への展開や基幹システムとの連結など、投資効果を広範囲に拡げる予定です。

製品構成

- MCFrame 生産管理 (東洋ビジネスエンジニアリング株式会社)
- OracleDataBase (日本オラクル株式会社)
- ハンディターミナル：VDR-2400EIIIM (株式会社スタンダード社)
- 無線モデム：無線LANアクセスポイント
- DataSpiderServista (株式会社アプレッソ)



【お問い合わせ】

株式会社ワイ・ディ・シー

URL : <http://www.ydc.co.jp/>

TEL : 03-3299-1411 E-mail : sales@tcc.ydc.co.jp

 DataSpider® Servista

※DataSpider Servistaは、株式会社アプレッソの製品です。